

令和5年度 クリスマスツリー用の 杉の木をプレゼント



日 時 : 令和5年12月13日(水)、15日(金)

場 所 : 米代東部森林管理署管内の保育園、保育所 計4施設

降雪も本格的となり、冬の寒空が身にしみてくる時期となりました。

米代東部森林管理署では、毎年恒例の国有林の秋田杉を使ったクリスマスツリーを、管内の保育施設にプレゼントしました。

クリスマスツリーの樹種というと、日本ではモミの木が一般的であり、海外ではヨーロッパモミやドイツウヒなども使われていますが、本イベントでは日本の固有種であり、なおかつ、秋田県を代表する樹種である杉をツリーとして使用しています。



～子どもたちとツリーの飾り付け～

子どもたちとクリスマスツリーの飾り付けをした後は、普段使っている水がどうやってみんなの元にやってくるのかを紙芝居で話しました。山林が雨水をきれいにしていることを伝えると、子どもたちは興味津々な顔で聞いてくれました。

また、子どもたちからもクリスマスソングのプレゼントをいただいたり、写真と一緒に撮るなど、特別で楽しい時間を過ごしました。

今回のイベントから、子どもたちが日本ならではの木に楽しく触れながら、森林への親しみと興味を持てただけならば幸いです。



～紙芝居「雨水のぼうけん」～



業務グループ	成田拓矢
総務グループ	加藤美月
業務グループ	栗木陸
業務グループ	利光顕史